

THInet 2023 年度 研修会との連携依頼

THInet 共同代表・2023 年度 1 日研修会全体実行委員長
大谷良光(青森大学客員教授)
群馬大学情報学部伊藤賢一(科学研究費プロジェクト代表)
伊藤賢一(群馬大学教授)

子ども達をネット健康リスクから守る啓発活動では、日頃大変お世話になっております。

さて、子どもたちのスマホ・ネットの利用状況を鑑みれば、学校での啓発を教師が直接行い、「長時間・不適切使用」にならない指導を行えるための教師研修が求められていると考えています。しかし、文部科学省の「情報モラル教育」は「ネット健康リスク問題」が欠落しており、2016年版『指導の手引き』までであった、ネット依存の扱いも大きく後退しました。

そこで2023年度1日研修会では、本問題を共有している教師の皆さんが参加しやすい夏休みに実施し、あわせて学校を支援する「ネットアドバイザー」の皆様も多数参加しやすいように、同一内容を2回実施することにしました。さらに、乳幼児支援者とも一体となって研修会が開催できるよう、宣伝と働きかけを統一しました。

下記、実施計画概要をご検討なさり、可能な範囲でご協力頂ければ幸いです

研修会の概要

	1 日研修会		乳幼児支援者研修会
日時 (時間は予定)	8月2日(水) 9時20分-16時40分	9月24日(日) 9時20分-16時40分	12月3日(日) 9時20分-16時40分
方法	オンライン と 対面会場		
共催(連携)団体 (予定会場)	①群馬大学伊藤研究室 (会場：群馬大学施設) ②中之条町教育委員会 (会場：町ツインプラザ) ③募集中	①子どものネットリスク 教育研究会埼玉支部 (会場予定：さいたま市) ②募集中	現在準備中
内容	①モデル授業のデモンストレーション ◆小学校高学年(5.6年)版「子どもの目が危ない」 ◆中学3年・高校版 「ネットの長時間になるしくみと学力・脳への影響」 ②6分野の基礎知識と発達障害の事実と要因・対策 ①脳の発達障害 ②睡眠不足による心と体の異常 ③視聴覚野の発達障害 ④運動器・関節等の異常 ⑤ネット依存 ⑥健康被害のリスクを低減する対策と取り組み ※8/2：主に教員・学校対象の対策・取り組み 9/24：主に保護者・啓発者対象の対策・取り組み		①医療専門家による講演 ◆タイトル(仮)/スマホ・タブレット使用の早期化と子どもの発達を考える ◆講師/小沢愉理先生 (島田療育センター はちおうじ小児神経科) ②乳幼児期の発達とメディアの影響・メディアに替わる関わり方

子ども対象の「モデル授業」は伊藤賢一(科学研究費PTカリキュラム委員会)が、出前授業を行い検証中です。小・中・高を5階層に区分し、階層ごとに各分野のカリキュラムを制作。今回は、「視覚野の分野」で小学校高学年版、「脳の分野」で中3・高校版を紹介。この2つの分野の他階層の「モデル授業」も完成しているものは提供可能です。これらの提供スライドを利用し授業・講演を行うことができます



主催：ネット健康問題啓発者養成全国連絡協議会 (THInet)
& 群馬大学情報学部伊藤賢一(科学研究費プロジェクト)
問合せ：youseikyo@gmail.com



共催、連携についての依頼事項

1. 直接運営：地域実行委員会の組織を立ち上げ、地域会場を設定する連携方法

- (1) 貴団体、教育委員会、または有志の会において、3回の研修会のうちいずれかの研修会を共催(連携)と位置づけ、「地域実行委員会」としてその会場の運営、宣伝に当たります。
- (2) 共催団体として参加する場合の経費については、別途相談させていただきます。会場費等必要経費は本部で負担します。
- (3) 貴団体の会計等の事務負担が生じることのないように、参加者の参加費は事前に振込とし、スライド冊子等配布物は事前に本部より発送します。

2. 間接的関わり：地域会場は設定せず、共催(連携)団体となり、貴団体と連絡が取れる教育委員会等への働きかけ(宣伝)を行う方法

- (1) 教育委員会の「後援」を得て、教員への広報をしやすくするために、「共催(連携)」として引き受けていただき、「企画・運営」に間接的に連携します。
- (2) 宣伝等にかかわる事務経費については、本部会計で支払います。
- (3) 貴団体の所属県のオンラインでの参加者名簿をお届けし、研修会内での「話し合い」時には、同一グループになるように配慮します。
- (4) 教育委員会等への「後援」依頼に必要な書類等については、そのひな形ファイルを用意します。

3. 共催(連携)は今年度できないが、所属メンバーや関係機関への宣伝はできる範囲で協力する方法

* 宣伝用チラシ(ご案内)について

3段階に分けて用意します。

- ① 「共通チラシ」は、準備段階用のチラシで、依頼等に使用します。
THInet ウェブにアップします。3月末。燈火3月号時
- ② 「1日研修会のチラシ」、「乳幼児支援者研修会チラシ」を別々に制作します。両方のチラシとも両研修会の内容がわかるようにしてあります。必要枚数を本部より届けます。現在準備中。
このチラシを、関係者、教育委員会経由で教師の皆さんに配ることもできます。
THInet ウェブにアップします。4月中旬
- ③ どちらかの研修会の共催(連携)団体になって頂いたところには、その県版のチラシを皆様と相談し本部が責任を持ち制作し、印刷してお届けします(ラクスル印刷より送付)。5から6月中

共催(連携団体)の募集…5月中旬頃まで

喫緊の課題であるネットリスクについて、貴団体の研修活動の一環として位置づけて頂き、本プログラムを活用いただきたくお願い申し上げます。

上記の3つの方法のうち、どの方法ならばご協力いただけるか、お忙しい中申し訳ありませんがご返信をお願いします。下記、大谷のメールアドレスまで。

[問合せ] THInet 1日研修会・乳幼児支援者研修会 全体実行委員長

大谷良光 (THInet 共同代表・青森大学客員教授)

E-mail : ootani-youseikyo@gmail.com